

ゆめつばき

北海道手稲養護学校
学校便り 第 204 号
令和 6 年 10 月 11 日(金)
発行者：校長 星野 健史



ひとつ星の塔に込められた想い

校長 星野 健史

手稲養護学校には「ひとつ星の塔」のミニチュアモニュメントが展示してあります。実物は、昭和57年に開校30周年を記念して保護者の手によって建てられ、高さ7メートルにもなる塔でした。先端の黄色い星に向かって白いハトが飛び、車椅子の輪が回っているデザインで、下の輪にはカラン、カランと鳴る鐘がついていました。残念ながら実物は建物の新築移転により撤去することとなりましたが、ミニチュアモニュメント（右写真）が作られ、その精神が受け継がれています。当時は朝と夕に子ども達の手で希望の鐘を鳴らすことにしていたそうです。近隣にお住まいの方にはこの鐘の音を聞いたことがある人がいるかもしれません。

「ひとつ星の塔」は本校の校歌2番「手稲の峰の頂に 輝き匂う**ひとつ星** 永久に夢見よ その光 よし我が双手堅くとも 清く正しき 明日のため 小さき胸に手を組まん」の歌詞からイメージしたそうです。この塔を見ていると、子どもの成長を願い、入院や治療という苦勞を自ら乗り越えられるよう励まし元気づけようとする保護者の想いが感じられます。

障がいがあるから諦めたり、誰かの助けを待つだけになったりするのではなく、自分の頭で考え、自分ができること・好きなこと・やりたいことを自分で決め、その目標（ひとつ星）に向かって努力する（ハトが飛び立つ）子どもの姿を私たち支援者が力を合わせ、寄り添い、励まし、時には一緒に汗する過程をこれからも大切にしていきたいと思えます。

この「ひとつ星の塔」があることで、この塔に込められた思いを忘れることなく、コロナ禍で失われた人と人との繋がりを再構築し、子ども達の笑顔と将来のひとつ星を叶えるために、保護者をはじめ、併設する北海道立子ども総合医療・療育センターの職員、関係機関や地域住民の方々との協力体制を更に強く深いものにしていきたいと願っております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



創立三十周年記念「ひとつ星の塔」



芸術鑑賞会「シエナ・ウインド・オーケストラ」

日本を代表するウインド・オーケストラである「シエナ・ウインド・オーケストラ」が本校に来てくれました！！憧れのシエナが来校するということが、元々吹奏楽に関わりのある児童生徒は大興奮。「事前ワークショップ」は、楽器の紹介や打楽器クイズなど、誰にとっても興味深い内容で和やかに進み、「ドレミパイプ」の演奏法についてメンバーの皆さんから直接レクチャーを受けたり、メンバーの方に質問させていただいたりなど、プロ奏者を身近に感じる貴重な機会となりました。本公演では、「ジブリリメドレー」「星に願いを」などの親しみやすい曲から本格的な吹奏楽曲まで、迫力ある音に加え、美しいハーモニーを響かせてくれました。「きらきら星変奏曲」では、12名の児童生徒がドレミパイプで共演を果たしました。音楽のもつパワーを大いに感じた鑑賞会となりました。



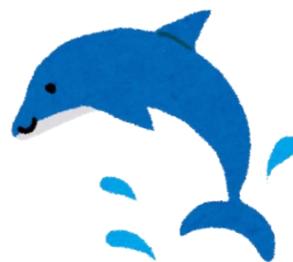
中学部見学旅行

7月11日～12日の1泊2日で、札幌市近郊を巡る見学旅行に行きました。主な目的地は、札幌芸術の森、そしてJRタワー展望台です。初日、学校を福祉タクシーで出発した2人は芸術の森で訪問教育学級の友達と合流し、3人でちぎり絵はがきの制作体験をしました。3人でお互いの作品の話をしながらか制作すると、あっという間に完成し大満足です。ホテルに泊まった2人は夜に1日の振り返り動画を見たり、トランプで遊んだり…。翌日はステラプレイスで買い物と、展望台からの景色を満喫し、展望台からは学校や訪問教育学級の友達の家と中継をつないで様子を伝えました。あっという間の楽しい2日間でした。



高等部宿泊研修

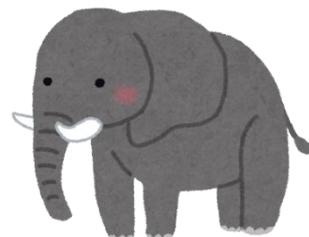
今年の宿泊研修は1泊2日の日程で小樽方面に行きました。日常生活では味わえない体験に期待を抱きながら、最初に向かった先はおたる水族館でした。イルカの赤ちゃんが公開された初日で、大勢の人がイルカの親子を見に来ていました。親子がぴったりと寄り添い泳ぐ姿が印象的でした。次に向かった先は小樽市総合博物館です。蒸気機関車「しずか号」が展示され、車内も見学することができました。科学展示室では実験コーナーがあり、自分の姿が消える実験を楽しむことができました。ホテルでは、お風呂にゆっくり入浴したり、お部屋で過ごしたりしました。次の日は、ウイングベイ小樽でたくさんのお店を見ながら買物をしました。この宿泊研修で見学や経験した瞬間や、笑いや驚きは、私たちにたくさんの感動を与えてくれました。



幼稚部社会見学

☆どきどき☆ ☆わくわく☆ 社会見学

9月13日（金）に円山動物園に社会見学に行ってきました。初めてバスに乗る子どももいて、行きバスの不安いっぱい表情の子ども達でしたが、いざ円山動物園の中に入ると、初めて見る実際の動物たちの姿に感動した表情で散策し始めました。さるやゾウ、アザラシ、ホッキョクグマとどんどんいろいろな動物をたくさん見ようとする子ども、キリンをじっくりと集中して見ようとする子ども、自分たちの思い思いの見方で動物園を楽しむことができました。最後に自分へのご褒美を買う経験を積むことができ、満足いっぱいの社会見学となりました。



同窓会の報告

今年度の同窓会は本校に直接来校される方と Zoom で参加される方が集まりました。お茶やジュースを飲みながら、和やかな雰囲気、あの日、あの時の出来事の話に花を咲かせていました。

本校を卒業された方からは現在の生活やお仕事の状況についての話があり、交流を深めることができました。レクレーションは「ターゲットポッチャ」を行いました。Zoom で参加された方も楽しんで頂けるように、職員が Zoom 参加の方の指名を受けて代わりにプレーを行いました。ボールが転がると盛り上がり、的にボールが止まると、その何倍もの盛り上がりが見られました。

来年度も同窓生の方が、同窓会で交流を深め、楽しむことができ、明日への活力や活躍につながるような会になるように計画をしていきます。



文化祭のおしらせ

日時 令和6年10月19日(土)
場所 北海道手稲養護学校 体育館、多目的室等
9:00~ 受付開始
9:20~ 舞台発表開始

9:20~小学部低学年
9:46~幼稚部
10:15~小学部中学年
10:40~小学部高学年
11:07~高等部(バザーの宣伝活動)
11:17~中学部
11:42~生徒会長挨拶



11:50~12:20 高等部バザー・福祉施設物販

※今年度は保護者、同窓生、旧職員、コドモックル職員を対象とした公開となります。
※上履きと外靴を入れる袋をご持参し、持ち歩いていただくようお願いします。
※受付は1階児童生徒玄関になります。コドモックル渡り廊下からは入退場できません。
※マスク着用、手指消毒にご協力ください。
※配布済みの「第72回文化祭について(ご案内)」を改めてご確認ください。

北海道手稲養護学校 〒006-0033 札幌市手稲区稲穂3条7丁目6番1号
学校ホームページ <http://www.teineyougo.hokkaido-c.ed.jp/>
学校代表メール teineyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp

